

くらすだより

れんげ組 No.1

R3年 5月 10日 日光輪保育園

学期の目標

ごたごた期

クラスの目標

生活

新しいクラス担任に慣れていこう

遊び

自分の好きな遊びを見つけよう

新年度がスタートして1か月が経ちました。子どもたちも、新しいお部屋や担当の保育士に徐々に慣れて、生活の流れも少しずつ分かってきたようです。

これから、子どもたちと一緒に生活する中で、一人一人の発見や感動にしっかり寄り添いながら子どもたちの成長を見守っていければと思います。1年間よろしくお祈りします。

村松、田代、本田、吉田



↑新年度新しく土を入れ大きくなった土山に登ったり、勢い良く滑ったり、泥だらけになりながら楽しめます。



みんなで足で踏み踏み。「柔らかくなったよー!!」

トロトロになった土を丸太に塗り付けていきます

土の塊を首元から洋服の中へ…お腹が大きくなりました

室内で過ごすときは朝、夕の時間ごとにコーナーを作り変え、テーブルによっておもちゃを分けたり、ままごとコーナーや積み木コーナーを作ったりしています。

パズルなどは数種類がごちゃ混ぜにならないよう、マットを敷いて使ったり、お友だちが使っていたら順番が来るまで待つ(保育士と一緒にまったり、他のもので遊んだり…)など、遊び方のルールも少しずつ自分たちで守れるようになっていけるといいなあと思います。

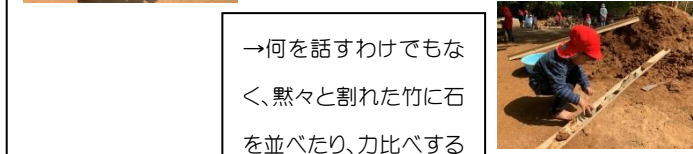


↑造形物で見立て遊び 左)お団子のスープ 中)「焼き芋熱いよ〜」 右)「ハッピーバースデー(ケーキ)だよ」

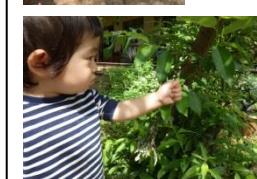
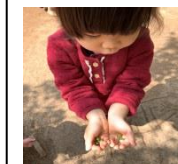


←自分で考えながら積んでいきます。重いものも全身の力の入れ方を変えながら運んでいました。

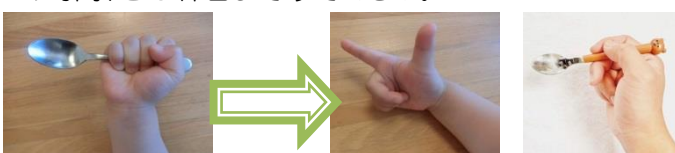
2歳になり、スプーンの持ち方も少しずつ気をつけていければと思います、月齢の低い子は手で食べそうになる時は「スプーンはどこにある？」など気付けるような声をかけたり、月齢の高い子には「バーンのおてて」で持つことを一緒に練習したりしています。お家でもご飯の時間、ぜひ練習してみてください。



→何を話すわけでもなく、黙々と割れた竹に石を並べたり、力比べするように重い丸太を転がしたりしていました。



←大人の目にはつかないような小さな木の実を見つけ集めたり、柔らかな緑の葉っぱをプッチンと引っ張ってちぎってみたり…ひらひらと飛んできた蝶々を寝そべてそーっと捕まえてみたり。目についた自然物が子どもたちの遊びものや宝物に変わります。



(「下手持ち」から「バーン持ち」へ)
バーン持ちが出来るようになってと箸の練習への移行もしやすいので、しっかりとスプーンで練習していきたいですね。